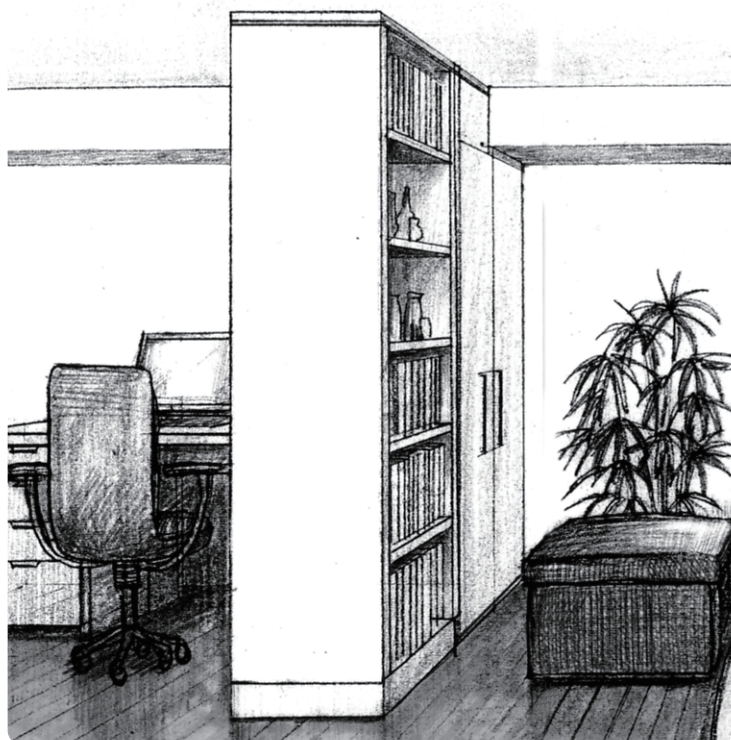




セフィット 可動間仕切収納

アッパーBOXタイプ【本体・アッパーBOX】

(棚・パイプセット/棚セット)



住宅部品表示ガイドラインによる表示

F☆☆☆☆

お買い上げいただいた商品は受注生産品です。
納入年月日は別添のインフォメーションシートに記載されております。

お問い合わせは裏表紙記載の
お問い合わせ窓口で承ります。

■構成材料<内装仕上部分/下地部分>

ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
パーティクルボード	F☆☆☆☆
集成材	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

施工説明書 [ON-S03]

- 作業開始前に、この施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- カスタムパーツをご注文の場合、別紙「カスタムパーツ施工説明書 [ON-S01-2]」もあわせてお読みください。

安全に関するご注意

収納ユニット本体の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。

施工時のご注意

- 開梱後、施工前に部材・部品に損傷等がないかどうかご確認ください。組立作業後の損傷については、責任を負いかねます。
- 付属の部品以外の部品を使用して組み立てないでください。
- 作業は必ず手回しのドライバーで行ってください。組立金具等の破損の原因となりますので、電動ドライバーは使用しないでください。



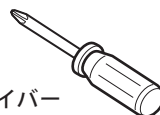
この絵表示は必ず実行していただく「強制内容」を示します



この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

使用工具

⊕ ドライバー



カッターナイフ (はさみ)

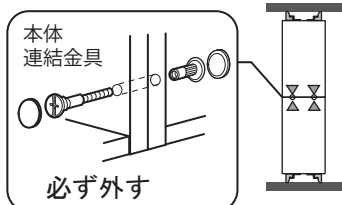


◆ もくじ

確認事項	表紙
1. 組み合わせの種類	1
2. 構成ユニット	1
3. 組み合わせバリエーション	2
4. 製品構成図	3
5. 納まり参考図	3
6. 本体の組み立て	4
7. アッパーBOXの組み立て	8
8. 据え付け	13
9. 扉の調整	14
10. 施工後の確認	14

はじめにお読みください

収納ユニット移動の際、特にご注意ください



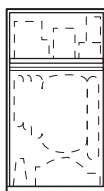
注意

連結したままハンドルを回してユニットを昇降させると、**本体が破損する原因となります。**
必ず本体連結金具を外してください。

移動時は
収納物を全て取り出してください

ジャッキアップキャスターの故障や、床面へのキズやへこみの原因となります。

必ず空の状態で作業を行ってください。



収納ユニット固定の際、特にご注意ください

ジャッキアップハンドルを右(時計回り)に回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。

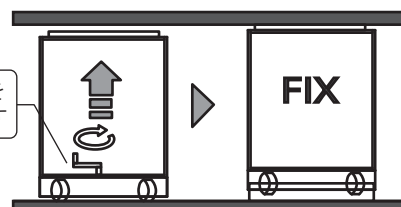
ハンドルを回しすぎると収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがあります。

天井スペーサー(軟質材)が天井にスキマなく当たったところでハンドルを止めてください。



注意

ハンドルを
右にまわす



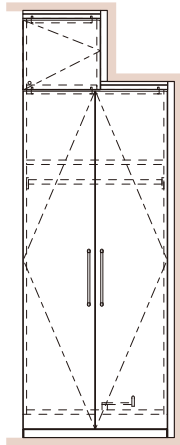
1 組み合わせの種類

組み合わせの種類により、本体の加工・セット内容が異なりますのでご注意ください。

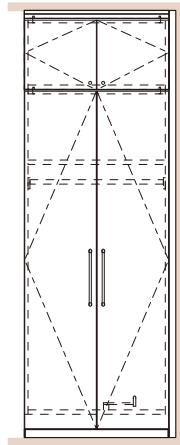
① 梁欠き対応用

② 同幅 BOX 用

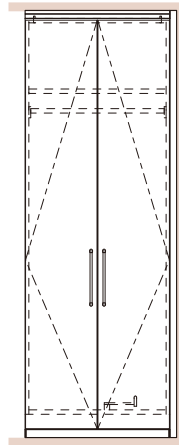
③ 横連結用



MP1-P01(R)
MP1-09B(R)



MP1-P02
MP1-09B(UB)



MP1-09B

図は右梁用
左梁用は MP1-09B (L)

2 構成ユニット

ご注文いただいた製品の寸法は別紙「インフォメーションシート」「部品・部材表」でご確認ください

◆ 本体

奥行寸法D=560 高さ寸法H=1900~2580

棚・パイプセット

棚セット

姿図	品番 オプション 末尾	標準パーツ	標準パーツ	標準パーツ	標準パーツ	標準パーツ	標準パーツ	標準パーツ
扉なし (A)	①棚板: 1 ②ハンガーパイプ: 1	①棚板: 1 ②ハンガーパイプ: 1	①棚板: 1 ②ハンガーパイプ: 1	①棚板: 1 ②ハンガーパイプ: 1	①棚板: 2 ②ハンガーパイプ: 2	①棚板: 2 ②ハンガーパイプ: 2	①棚板: 4	①棚板: 4
サイドスベ ーサーなし (B)								
扉なし サイドスベ ーサーなし (AB)								
セレクト ハンドル K15 K25								
幅寸法W (側板外寸)	700~800	801~960	961~1200	1201~1400	1401~1600	1601~2000	700~800	801~960
梁欠き対応用 本体品番(右梁)	MP1-07B(R)	MP1-09B(R)	MP1-10B(R)	MP1-12B(R)	MP1-14B(R)	MP1-16B(R)	MP1-07SB(R)	MP1-09SB(R)
梁欠き対応用 本体品番(左梁)	MP1-07B(L)	MP1-09B(L)	MP1-10B(L)	MP1-12B(L)	MP1-14B(L)	MP1-16B(L)	MP1-07SB(L)	MP1-09SB(L)
同幅UB用 本体品番	MP1-07B(UB)	MP1-09B(UB)	MP1-10B(UB)	MP1-12B(UB)	MP1-14B(UB)	MP1-16B(UB)	MP1-07SB(UB)	MP1-09SB(UB)
UB横連結用 本体品番	MP1-07B	MP1-09B	MP1-10B	MP1-12B	MP1-14B	MP1-16B	MP1-07SB	MP1-09SB

◆ アッパーBOX(UB)

奥行寸法D=560 高さ寸法H=300~550

姿図	品番 オプション 末尾	品番	品番
扉なし (A)	MP1-P01 (R) MP1-P01 (L)	MP1-P02	MP1-P03
アッパーBOX品番	MP1-P01 (L/R)	MP1-P02	MP1-P03
幅寸法W	300~550	551~1100	961~1400

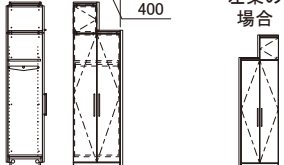
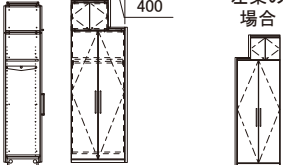
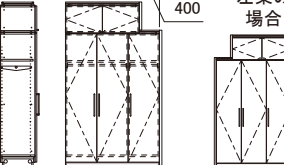
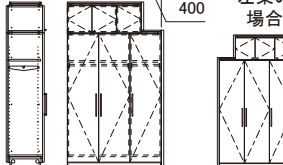
3 組み合わせバリエーション

ご注文いただいた製品の品番・寸法は別紙「インフォメーションシート」「部品・部材表」でご確認ください

◆ アッパーBOXタイプ 梁欠き対応組み合わせ

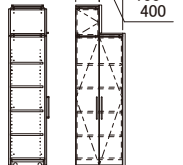
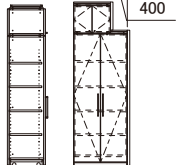
※寸法入りの図は右梁品番MP1-OOB(R)+POO。左梁の場合は品番MP1-OOB(L)+POO

棚・パイプセット

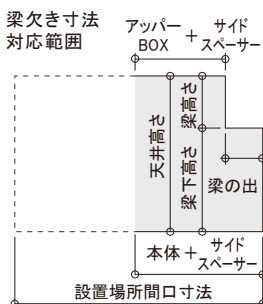
姿図 オプション	品番 末尾	アッパー-BOX幅 350~550		梁の出 100~400	左梁の 場合	アッパー-BOX幅 551~860		梁の出 100~400	左梁の 場合	アッパー-BOX幅 561~1100		梁の出 100~400	左梁の 場合	アッパー-BOX幅 961~1300		梁の出 100~400	左梁の 場合
	扉なし (A)			本体幅W			本体幅W			本体幅W			本体幅W				
	サイドベ ーサーなし (B)																
	扉なし (AB)																
	サイドベ ーサーなし																
セレクト ハンドル	K15 K25																
セット品番	MP1-07B (L/R)+P01	MP1-09B (L/R)+P01	MP1-07B (L/R)+P02	MP1-09B (L/R)+P02	MP1-10B (L/R)+P02	MP1-12B (L/R)+P02	MP1-12B (L/R)+P03										
アッパー-BOX品番	MP1-P01	MP1-P01	MP1-P02	MP1-P02	MP1-P02	MP1-P02	MP1-P03										
本体品番	MP1-07B (L/R)	MP1-09B (L/R)	MP1-07B (L/R)	MP1-09B (L/R)	MP1-10B (L/R)	MP1-12B (L/R)	MP1-12B (L/R)										
アッパー-BOX幅寸法	350~550	401~550	551~700	551~860	561~1100	801~1100	961~1300										
本体幅寸法	700~800	801~960	700~800	801~960	961~1200	1201~1400	1201~1400										

姿図 オプション	品番 末尾	アッパー-BOX幅 1000~1100			アッパー-BOX幅 1001~1400			アッパー-BOX幅 550~1100		
	扉なし (A)	梁の出 100~400	左梁の 場合	梁の出 100~400	左梁の 場合	梁の出 100~400	左梁の 場合			
	サイドスベ ーサーなし (B)									
	扉なし (AB)									
	サイドスベ ーサーなし									
セレクト ハンドル	K15 K25	本体幅W		本体幅W		本体幅W				
セット品番	MP1-14B (L/R)+P02	MP1-14B (L/R)+P03	MP1-16B (L/R)+P02	MP1-14B (L/R)+P02 × 2	MP1-16B (L/R)+P02 × 2					
アッパー-BOX品番	MP1-P02	MP1-P03	MP1-P03	MP1-P02 × 2	MP1-P02 × 2					
本体品番	MP1-14B (L/R)	MP1-14B (L/R)	MP1-16B (L/R)	MP1-14B (L/R)	MP1-16B (L/R)					
アッパー-BOX幅寸法	1001~1100	1001~1400	1201~1400	551~750(×2台)	600~900(×2台)					
本体幅寸法	1401~1600	1401~1600	1601~1900	1401~1600	1601~1900					

棚セット

姿図 オプション	品番 末尾	アッパー-BOX幅 350~550		梁の出 100~400	アッパー-BOX幅 551~860		梁の出 100~400
	扉なし (A)						
	サイドスベ ーサーなし (B)						
	扉なし (AB)						
	サイドスベ ーサーなし						
セレクト ハンドル	K15 K25						
セット品番	MP1-07SB(L/R)+P01	MP1-09SB(L/R)+P01	MP1-07SB(L/R)+P02	MP1-09SB(L/R)+P02			
アッパー-BOX品番	MP1-P01	MP1-P01	MP1-P02	MP1-P02			
本体品番	MP1-07SB(L/R)	MP1-09SB(L/R)	MP1-07SB(L/R)	MP1-09SB(L/R)			
アッパー-BOX幅寸法	350~550	400~550	551~700	551~860			
本体幅寸法	700~800	801~960	700~800	801~960			

■ 梁欠き寸法 対応範囲


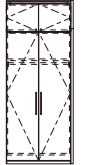

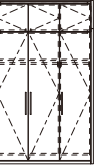

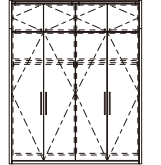

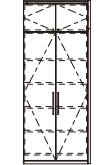


梁高さ	300~550
梁下高さ	1900以上
天井高さ	2580以下
梁の出	100~400
本体幅	700~1900
サイドスパーサー	設計値36.5(36) 実寸38

◆ アッパーBOXタイプ 同幅アッパーBOX組み合わせ

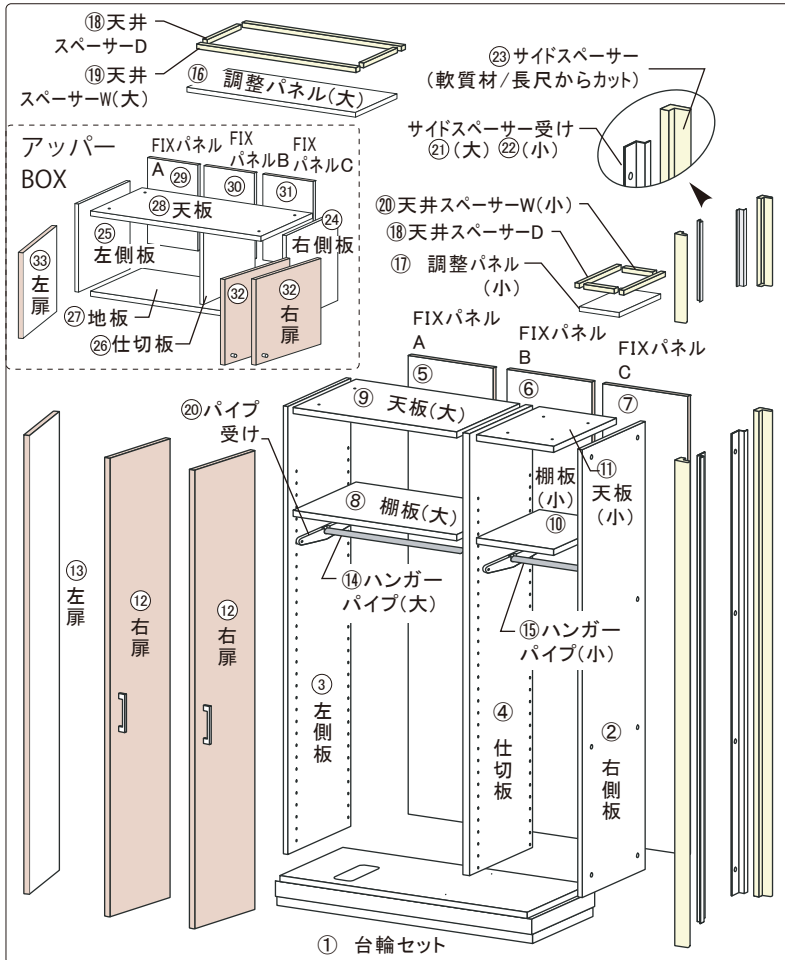
棚・パイプセット

棚セット

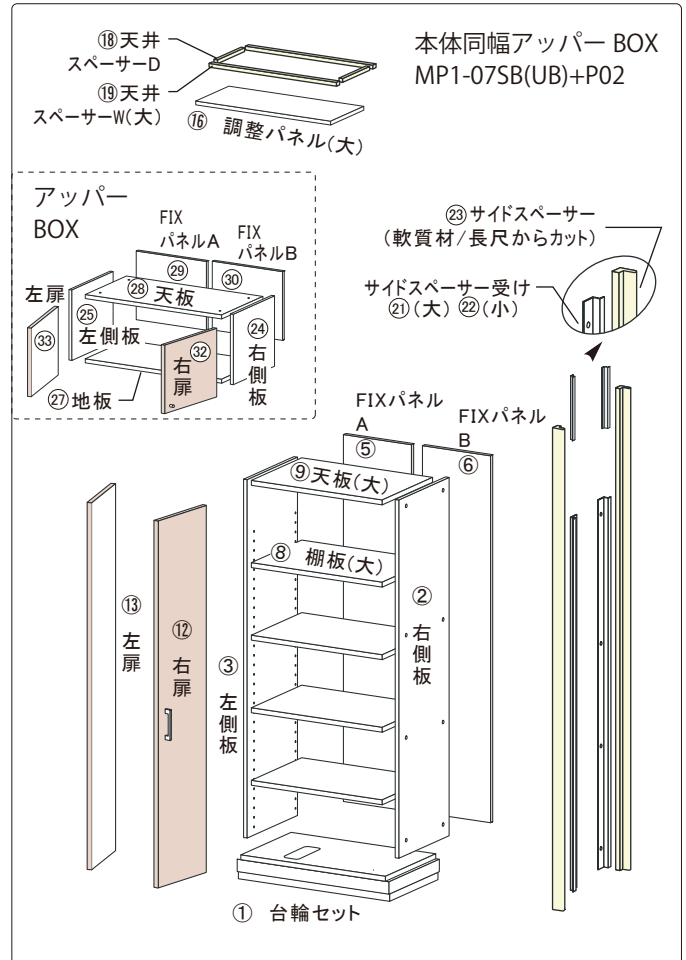
姿図 オプション	品番 末尾	アッパーBOX幅 700〜960		アッパーBOX幅 961〜1400		アッパーBOX幅 700〜950		アッパーBOX幅 700〜960	
	扉なし (A)								
	サイドスベ ーサーなし (B)								
	扉なし (AB)								
	サイドスベ ーサーなし								
セレクト ハンドル	K15 K25								
セット品番	MP1-07B(UB)+P02	MP1-09B(UB)+P02	MP1-10B(UB)+P03	MP1-12B(UB)+P03	MP1-14B(UB)+P02×2	MP1-16B(UB)+P02×2	MP1-07SB(UB)+P02	MP1-09SB(UB)+P02	
アッパーBOX品番	MP1-P02	MP1-P02	MP1-P03	MP1-P03	MP1-P02×2	MP1-P02×2	MP1-P02	MP1-P02	
本体品番	MP1-07B(UB)	MP1-09B(UB)	MP1-10B(UB)	MP1-12B(UB)	MP1-14B(UB)	MP1-16B(UB)	MP1-07SB(UB)	MP1-09SB(UB)	
アッパーBOX幅寸法	700〜800	801〜960	961〜1200	1201〜1400	700〜800	800〜950	700〜800	801〜960	
本体幅寸法	700〜800	801〜960	961〜1200	1201〜1400	1401〜1600	1601〜1900	700〜800	801〜960	

4 製品構成図

◆ 製品構成図① 梁突き対応組み合わせ MP1-12B(R)+P03



◆ 製品構成図② 本体同幅アップパー BOX MP1-07SB(UB)+P02

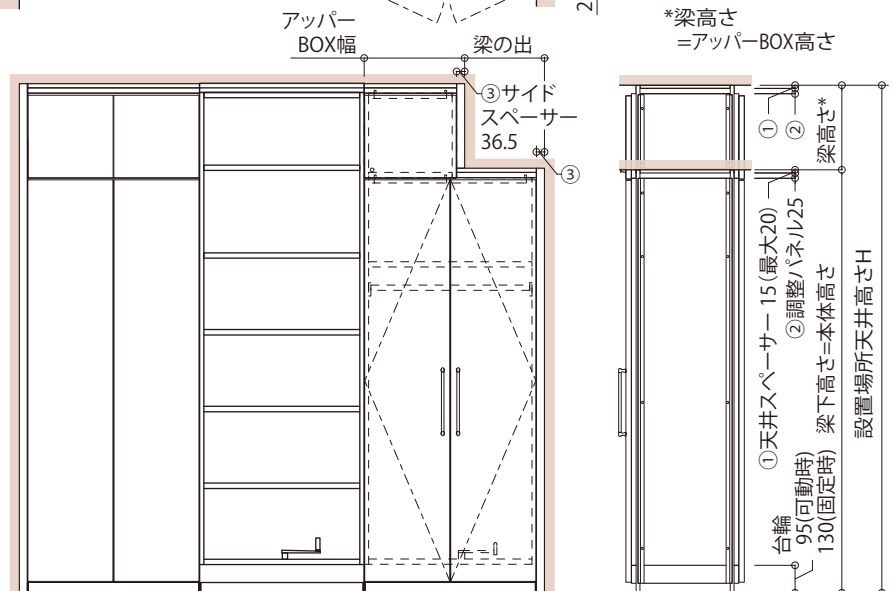
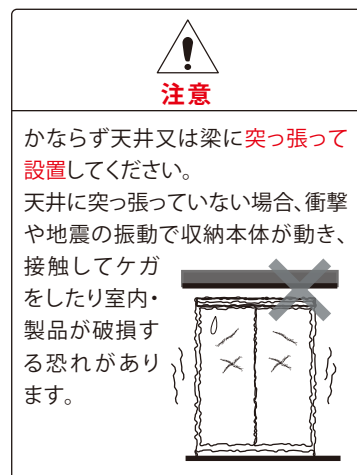
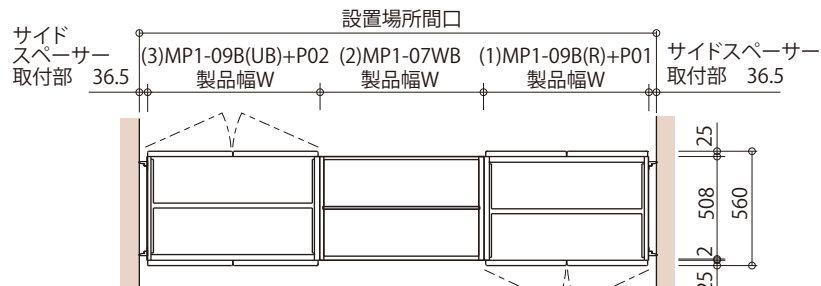


5 納まり参考図

ご注文いただいた製品の寸法は別紙「インフォメーションシート」「部品・部材表」でご確認ください

完全間仕切

- (1) MP1-09B(R)+P01 × 1 台
- (2) MP1-07WB × 1 台
- (3) MP1-09B(UB)+P02 × 1 台 の場合



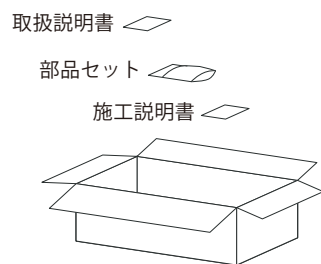
6 本体の組み立て①

はじめに 部品の確認

はじめに金物セットの梱包を開けてください。

組み立てに必要な
部品セット
施工説明書
が同梱されています。
※取扱説明書は、必ず
お客様にお渡しください。

◆ 金物セット梱包



◆ ブロックパック梱包

部品表で部品名横に * 印がついたものは、使用順に区切られ、連続した袋に詰められています（これをブロックパックといいます）。
組み立ての際、ブロックパックは下から順番に開けて使用してください。



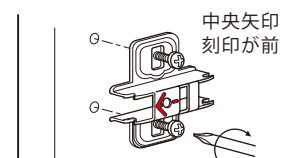
使用順①

壁養生材等に
テープで貼って
下げて使うと便
利です

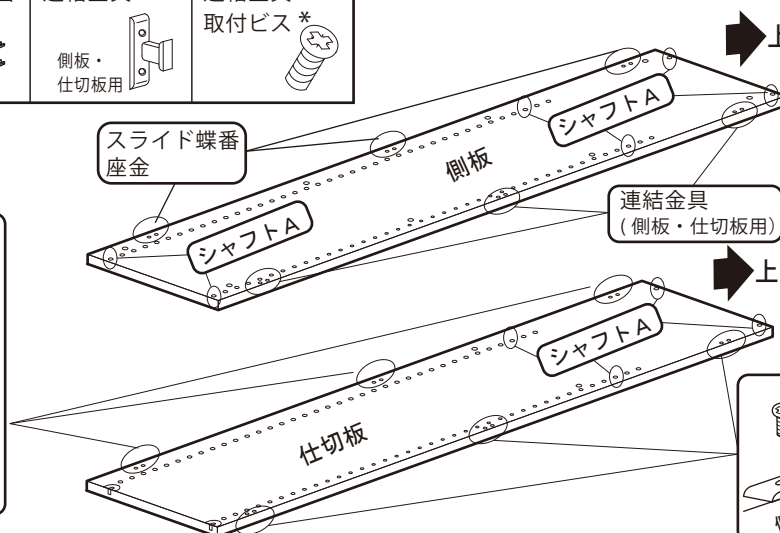
6-1 側板・仕切板に部品を取り付ける

使用部品	シャフト A *	スライド蝶番座金	連結金具 側板・仕切板用	連結金具 取付ビス *
------	----------	----------	-----------------	----------------

スライド蝶番座金

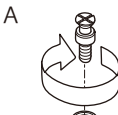


座金にセットした樹脂ブッシュを側板（仕切板）の穴に根元まで押し込み、ビスを締め付ける

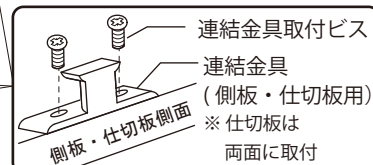


シャフト A

根元まで
しっかり
ねじ込む

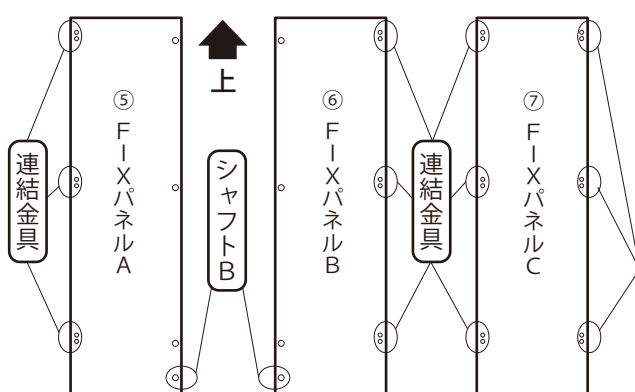


※棚プランや
位置指定の場合
指示通りの位置

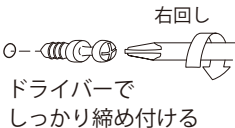


6-2 FIX パネルに部品を取り付ける

使用部品	連結金具 FIX パネル用	連結金具 取付ビス *	シャフト B *
------	---------------------	----------------	----------



シャフト B



⚠ ネジ頭の破損に注意

連結金具
取付ビス

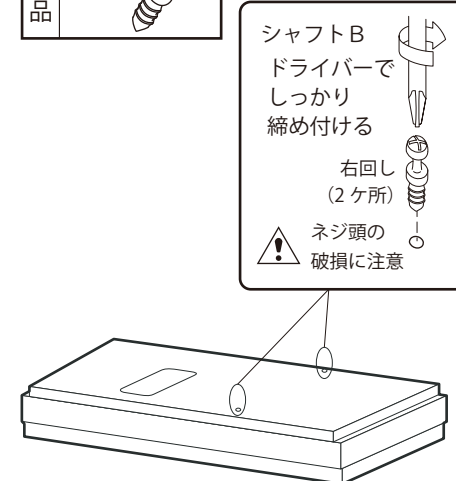
連結金具
(FIX パネル用)



6-3 台輪に部品を取り付ける

MP1-10・MP1-12・MP1-14・MP1-16 のみ

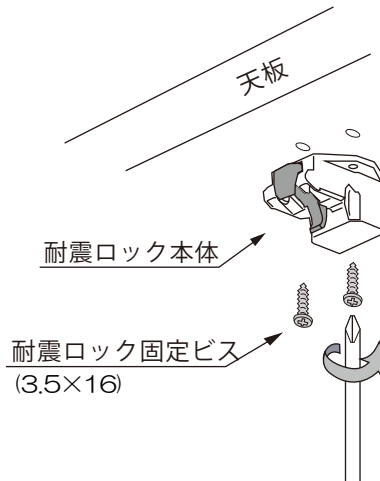
使用部品	シャフト B *
------	----------



6-4 耐震ロックを取り付ける



天板裏面の小孔に耐震ロック本体をビスで固定してください。



⚠ 注意



しっかり締め付ける

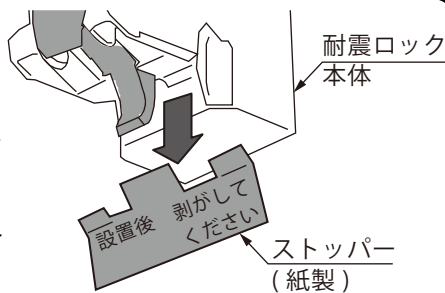
締め付けが不十分な場合、通常の開閉に支障をきたしたり、ロック機構が正常に動かなくなる恐れがあります。

「6-9扉を取り付ける」の前にストッパーを剥がしてください



必ず剥がす

「6-9扉を取り付ける」の前に、必ずストッパーを剥がしてください。そのまま使用すると耐震ロックが破損する恐れがあります。

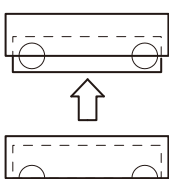
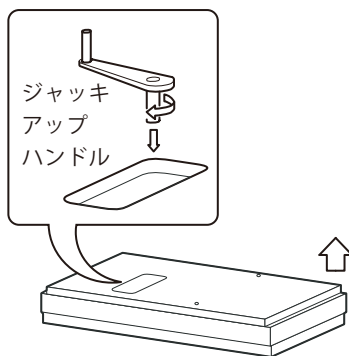


6 本体の組み立て②

6-5 側板・仕切板を台輪に立て、棚板・天板を取り付ける

作業開始前の確認と注意

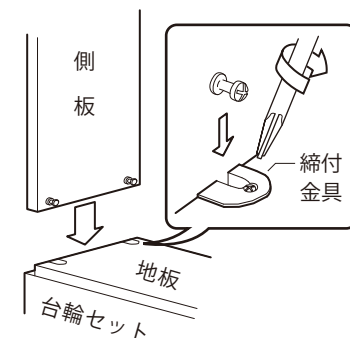
台輪セットが組み立て中に動いてしまわないように、ジャッキアップハンドルを右に回して本体を上げてください。



動かないように上げる

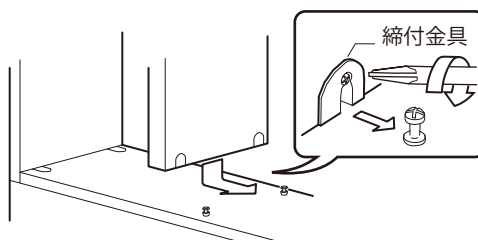
※ 上げすぎると天板を取り付けにくくなる場合がありますのでご注意ください。

① 側板の取付



側板に取り付けたシャフトAを、地板の締付金具に差し込み、⊕ドライバーで右に回して締め付けて固定します。

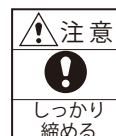
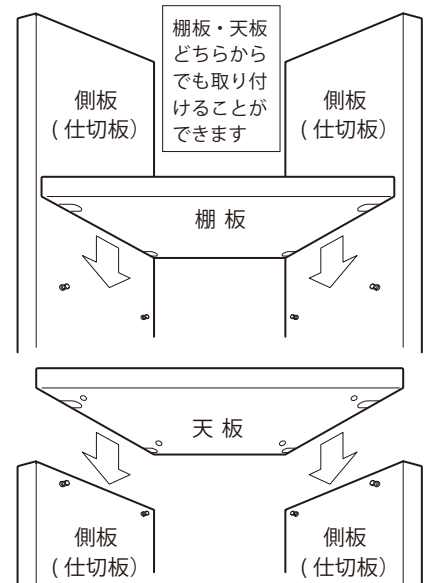
② 仕切板の取付



地板に取り付けたシャフトBに、仕切板の締付金具を差し込み、⊕ドライバーで右に回して締め付け、固定します。

③ 棚板・天板の取付

側板(仕切板)に取り付けたシャフトAに棚板・天板の締付金具をはめ込み、⊕ドライバーで右に回して締め付け、固定します。



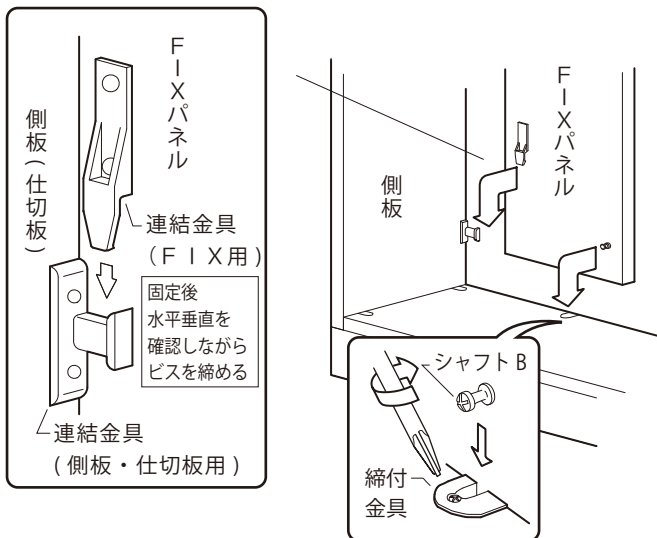
しっかり締める

金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊、棚板の落下によるケガの恐れがあり、大変危険です。

6-6 F I Xパネルを取り付ける

① F I Xパネルの取付

F I Xパネルに取り付けた連結金具を、側板（仕切板）に取り付けた連結金具に上から差し込みながら、F I Xパネルに取り付けたシャフトBを地板の締付金具に差し込み、締付金具を右に回して固定します。

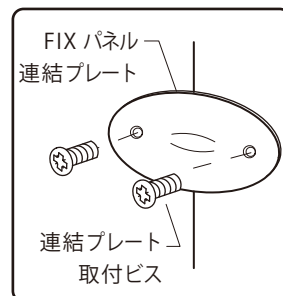


収納ユニット本体の水平・垂直を確認しながら、F I Xパネルに取り付けた連結金具を右に回してしっかり固定します。

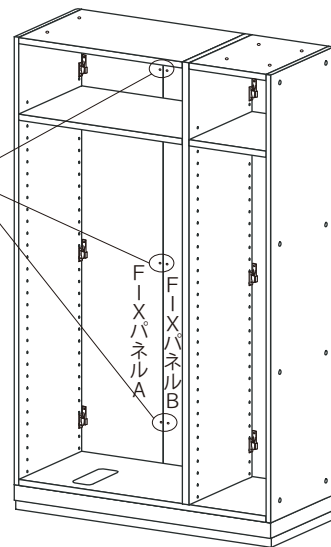
② F I Xパネルの連結

F I Xパネル同士が突合せになっている部分を連結プレートで連結します。

使用部品	FIX パネル 連結プレート*	連結プレート 取付ビス*



注意
金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊によるケガの恐れがあり、大変危険です。



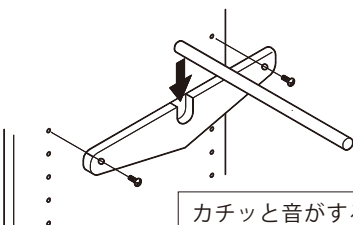
6-7 内部パーツを取り付ける

お選びいただいたプランや追加カスタムパーツにより異なります。別紙「カスタムパーツ施工説明書」とあわせてご覧ください。

◆ ハンガーパイプの取付



お好みの高さのパーツ取付穴にパイプ受けを取り付け、パイプ受けの上方からパイプを下方向に下ろし、溝にパイプをはめ込みます。



カチッと音がするまで下ろし、しっかりはまったことを確かめください。



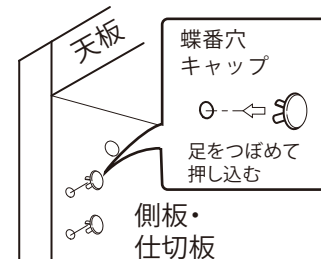
金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊、内部パーツの落下によるケガの恐れがあり、大変危険です。

6-8 扉の取付準備

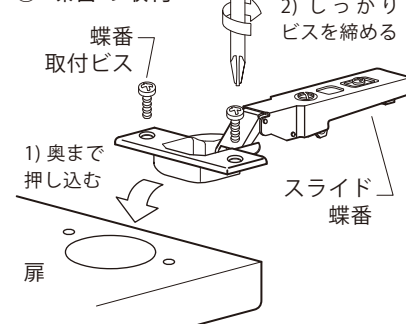
使用部品	スライド 蝶番	蝶番穴 キャップ(*)*	耐震ロック 受け	耐震ロック 固定ビス (φ3.5×16)

品番に (A) または (AB) の文字が含まれる場合、扉なしでお届けするマイナスオプションをお選びいただいております。付属の部品・部材は※印の蝶番穴キャップのみとなります。

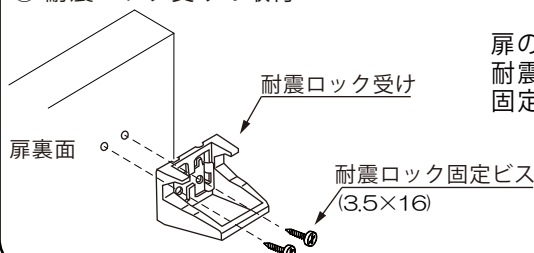
マイナスオプション ＜扉＞選択の場合



① 蝶番の取付



② 耐震ロック受けの取付

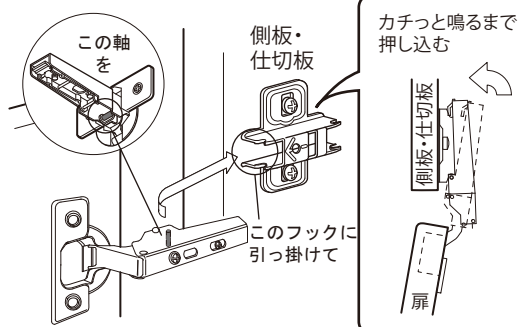


扉の裏面の小孔に耐震ロック受けをビスで固定してください。

6-9 扉を取り付ける

使用部品	戸当たりダンパー	取手	取手 取付ビス *
使用部品	戸当たり * フェルト (白)		

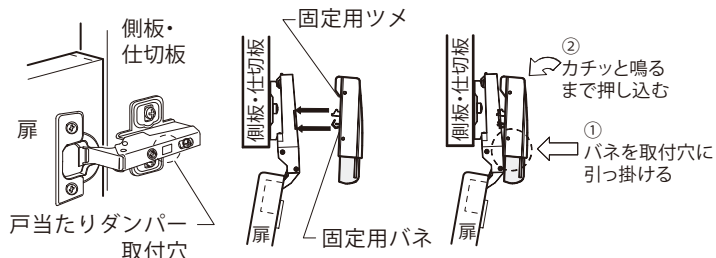
① 扉の吊り込み



- 扉を取り付ける前に、耐震ロック本体のストッパーを剥してください。
- 蝶番が座金にしっかり固定されているかどうか、扉を開閉して確認する。

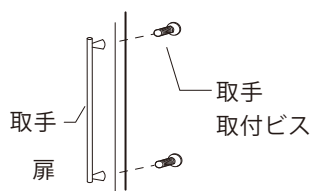
② 戸当たりダンパーの取付

各扉 1 個ずつ取り付けます。
中央の蝶番への取り付けを推奨します。



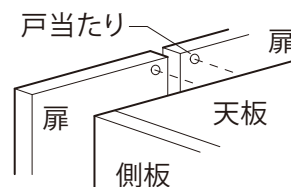
蝶番の戸当たりダンパー取付穴に、固定用ツメと固定用バネをそれぞれ合せてください。
その後、固定用バネを蝶番の取付穴に引っ掛け戸当たりダンパー後部をカチッと鳴るまで蝶番に押し込み、取り付けます。

③ 取手の取付



④ 戸当たりの取付

天板・地板と当たる扉裏面に貼り付けます。

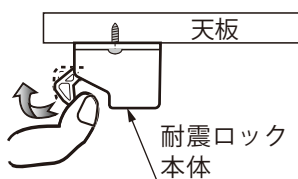


6-10 耐震ロック本体の作動確認

耐震ロック本体取付後、ロック部分が動くかどうか必ず確認してください。

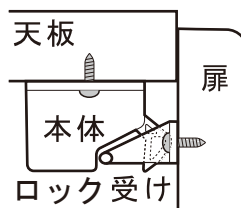


耐震ロック本体と収納ユニットの水平・垂直が出ているにも関わらず動きが悪い場合は、一旦外して水平な台の上に置いてロック部分を指で動かし作動するかどうかをご確認ください。作動しない場合は、お手数ですが弊社までお問い合わせください。



6-11 耐震ロック受けの作動確認

扉を手で開け閉めして、作動確認を行ってください。



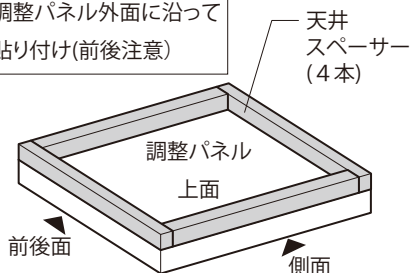
不具合項目	対処方法
開閉の際引っかかりがある	固定ねじを少しゆるめて、本体またはロック受けの位置を調整する
扉が閉まらない	ロック受けの上下が正しいかどうかを確認し間違っていた場合は取り付け直す

不具合が解消しない場合は、お手数ですが弊社までお問い合わせください。

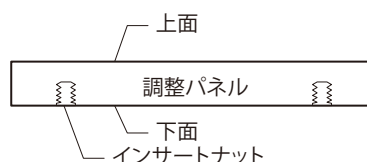
6-12 調整パネルに天井スペーサーを取り付ける

調整パネル上面に天井スペーサーを貼り付けます。

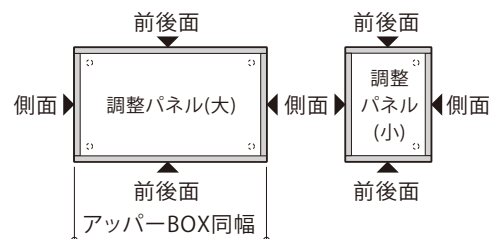
調整パネル外面に沿って
貼り付け(前後注意)



※ 調整パネルには、上下がありますのでご注意ください



※ 調整パネルの方向と、天井スペーサー貼り方向



7 アッパー BOX の組み立て①

7-1 側板・仕切板に部品を取り付ける

シャフト A

根元まで
しっかり
ねじ込む

**連結金具
取付ビス**

側板・仕切板側面

**連結金具
(側板・仕切板用)**
※ 仕切板は両面に取付

スライド蝶番座金

座金にセットした樹脂
プッシュを側板(仕切板)
の穴に根元まで
押し込み、ビス
を締め付ける

中央矢印
刻印が前

■ アッパー BOX 側板
(図は ②4 右側板 ②5 左側板は左右反転)

上
前
下
後

側板
(内面)

連結金具
(側板・仕切板用)
※両面に穴加工あり

■ 仕切板 (P03 のみ)

上
前
下
後

仕切板
(左面)

仕切板
(右面)

連結金具
(側板・仕切板用)
※両面に穴加工あり

7-2 FIX パネルに部品を取り付ける

使用部品

連結金具
FIX
パネル用

連結金具
取付ビス *

シャフト B *

②9 F I X
パネル A
(P02・P03)

連結金具

③0 F I X
パネル B
(P02・P03)

連結金具

③1 F I X
パネル C
(P01・P03)

連結金具

シャフト B

右回し
ドライバーで
しっかり締め付ける

⚠ ネジ頭の破損に注意

**連結金具
取付ビス**

連結金具
(FIX パネル用)

下側はややゆるめに取り
付け、F I X パネル取付後
しっかり締める

7-3 耐震ロックを取り付ける

使用部品

耐震ロック本体

耐震ロック
固定ビス
(φ3.5×16)

天板裏面の小孔に、耐震ロック
本体をビスで固定してください。

⚠ 注意

しっかり
締め付ける

締め付けが不十分な場
合、通常の開閉に支障
をきたしたり、ロック
機構が正常に動かなく
なる恐れがあります。

天板

耐震ロック本体

耐震ロック固定ビス
(3.5×16)

「7-9 扉を取り付ける」の前に
ストッパーを剥がしてください

耐震ロック
本体

設置後 剥がして
ください

ストッパー
(紙製)

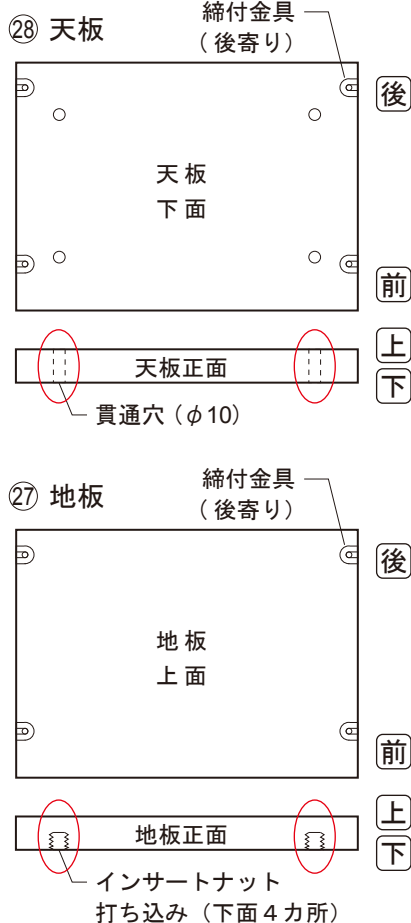
⚠ 注意

必ず
剥がす

「7-9 扉を取り付け
る」の前に、必ず
ストッパーを剥がし
てください。
そのまま使用すると
耐震ロックが破損
する恐れがあります。

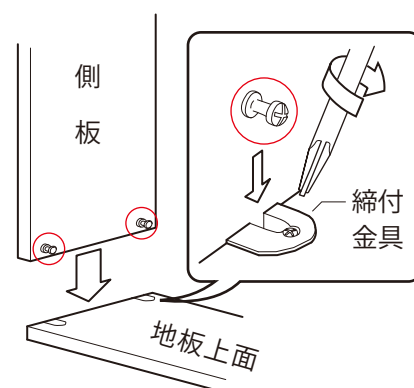


天板・地板の見分け方



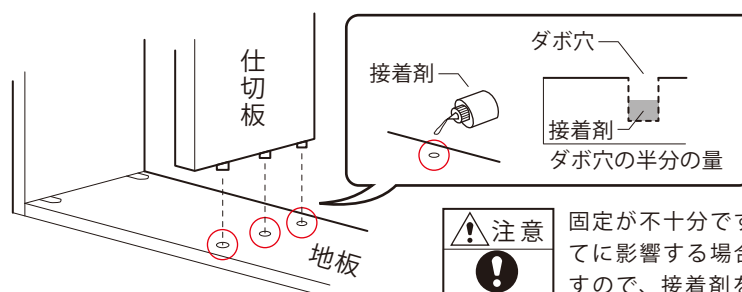
① 側板を地板に取付

側板に取り付けたシャフト A を、
地板の締付金具に差し込み、
⊕ドライバーで右に回して締め付けて
固定します。



② 仕切板を地板に取付

地板のダボ穴に接着剤を入れ
仕切板を差し込みます。



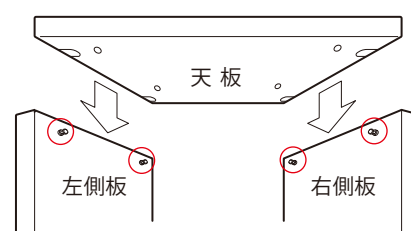
固定が不十分だと組み立てに影響する場合がありますので、接着剤を使用し確実に差し込んでください。

③ 天板の取付

側板に取り付けたシャフト A に天板の締付金具をはめ込み、⊕ドライバーで右に回して締め付け、固定します。

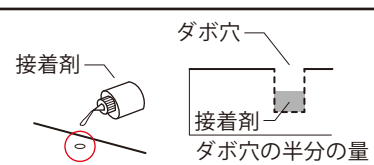
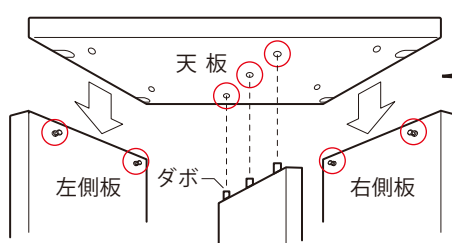


金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊、棚板の落下によるケガの恐れがあり、大変危険です。



<MP1-P03の場合>

合わせて天板のダボ穴に接着剤を入れ仕切板を差し込みます。

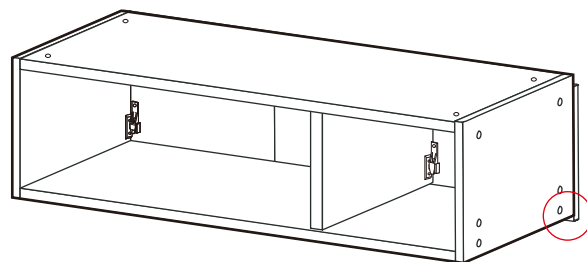
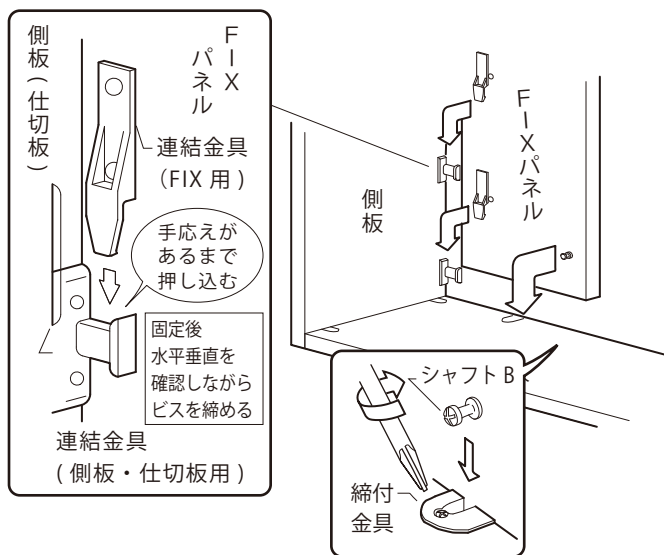


固定が不十分だと組み立てに影響する場合がありますので、接着剤を使用し確実に差し込んでください。

F I X パネルの取付

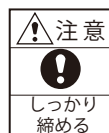
F I X パネルに取り付けた連結金具を、側板（仕切板）に取り付けた連結金具に上から差し込みます。

P02・P03 の場合、連結金具を差し込みながら、FIX パネルに取り付けたシャフト B を地板の締付金具に差し込み、⊕ドライバーで右に回して固定します。



扉及び FIX パネルは、明かり漏れ防止のため地板・側板より下に出ています。組み立ての際ご注意ください

収納ユニット本体の水平・垂直を確認しながら、F I X パネルに取り付けた連結金具を右に回してしっかり固定します。



金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊によるケガの恐れがあり、大変危険です。

7-6 アッパー BOX を本体に固定する①

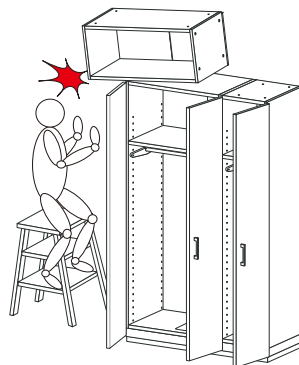
使用部品	上下連結ボルト	連結キャップ	シャフト A *

① アッパー BOX の取付

本体の上にアッパー BOX を乗せ、側板外面同士を揃えて、上下連結ボルトで固定します。

② 調整パネルの取付

アッパー BOX の上に「調整パネル（大）」を、梁欠き対応の場合は本体の上に「調整パネル（小）」を乗せて、上下連結ボルトで固定します。

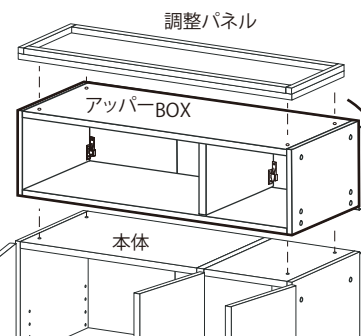
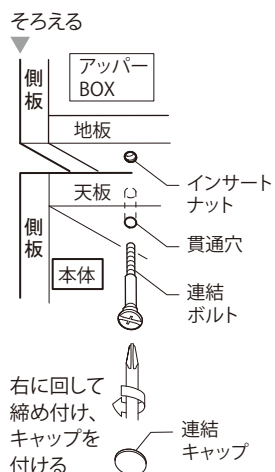


必ずふたり以上で作業してください。アッパー BOX の落下によるケガの恐れがあり、大変危険です。

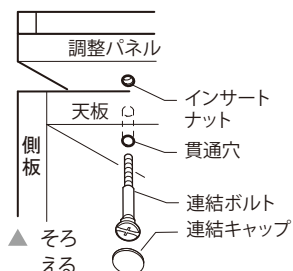
7-7 アッパー BOX を本体に固定する②

◆ アッパー BOX と 本体が同幅の場合

① アッパー BOX と 本体の連結



② 調整パネルの連結



◆ 梁欠き対応の場合

① アッパー BOX の側板に
シャフトを取り付ける。

② シャフトと調整パネルの
棚受カップを組み合わせる。

③ 連結ボルトで固定する。

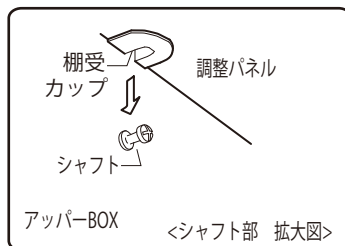
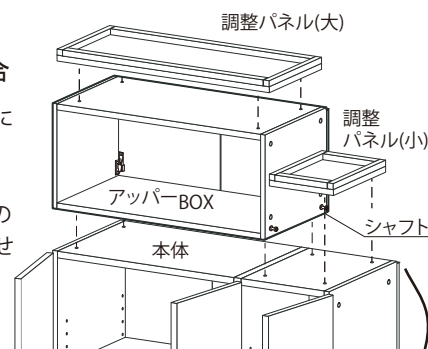
本体 → アッパー BOX

本体 → 調整パネル (小)

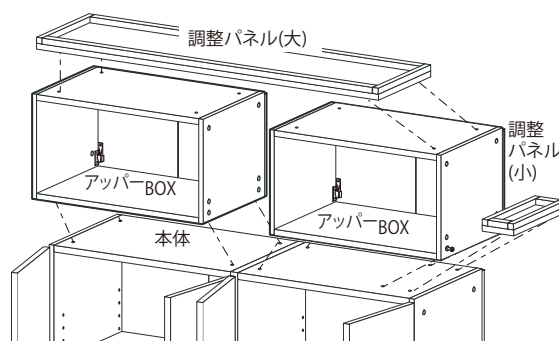
アッパー BOX

→ 調整パネル (大)

それぞれ、連結ボルトを右に
回して締め付け、キャップを
付ける。

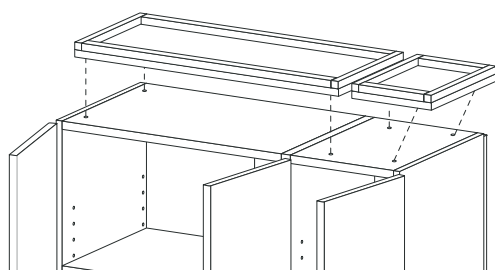


※ アッパー BOX を 2 台乗せる場合



<UB 横連結用本体・アッパー BOX を下ろしておく場合>

本体天板に直接調整パネルを取り付けます



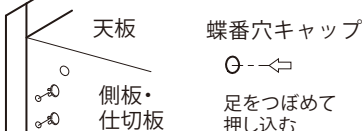
下ろしたアッ
パー BOX は、
地板の下面に
専用脚 (別売)
を取り付けて
使用すること
もできます

7-8 扉の取付準備

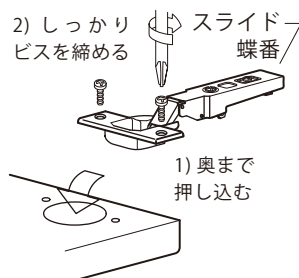
使用 部品	スライド 蝶番	蝶番穴 キャップ (※)	耐震ロック 受け	耐震ロック 固定ビス (φ3.5×16)

品番に (A) または (AB) の文字が含まれる場合、
扉なしでお届けするマイナスオプションをお
選びいただいております。付属の部品・部材
は※印の蝶番穴キャップのみとなります。

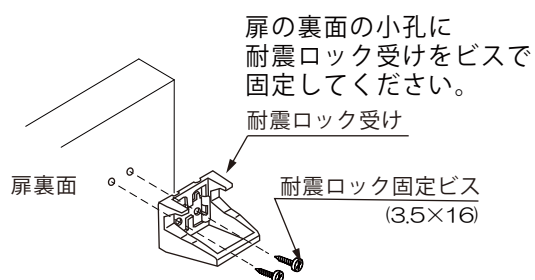
マイナスオプション<扉>選択の場合



① 蝶番の取付



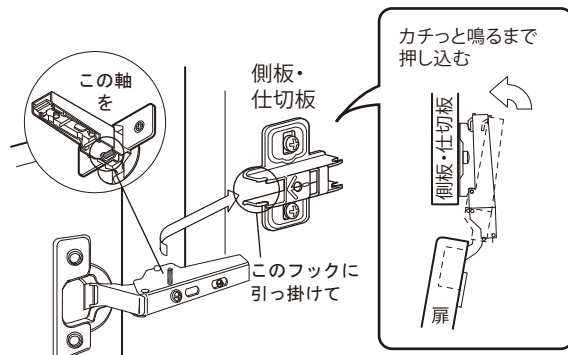
② 耐震ロック受けの取付



7-9 扉を取り付ける

使用部品	戸当たりダンパー	取手・ツマミ 取付ビス	ツマミ	戸当たり フェルト (白)
------	----------	----------------	-----	------------------

① 扉の吊り込み



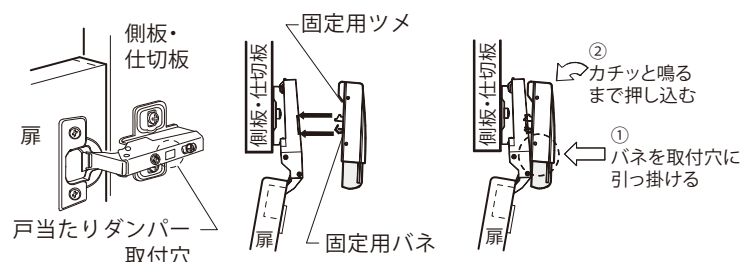
蝶番を開いた状態で座金に取り付けてください。
蝶番裏側の軸を座金のフックに引っ掛けます。
蝶番奥側をカチッと鳴るまで座金に押し込み、扉を取り付けます。



- ・扉を取り付ける前に、耐震ロック本体のストッパーを剥してください。
- ・蝶番が座金にしっかり固定されているかどうか、扉を開閉して確認する。

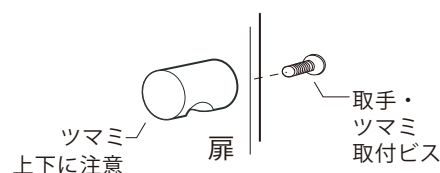
② 戸当たりダンパーの取付

各扉1個ずつ取り付けます。
下の蝶番への取り付けを推奨します。



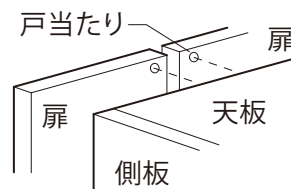
蝶番の戸当たりダンパー取付穴に、固定用ツメと固定用バネをそれぞれ合せてください。
その後、固定用バネを蝶番の取付穴に引っ掛け戸当たりダンパー後部をカチッと鳴るまで蝶番に押し込み、取り付けます。

③ 取手の取付



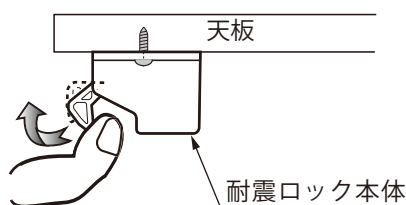
④ 戸当たりの取付

天板・地板と
当たる扉裏面に
貼り付けます。



7-10 耐震ロック本体の作動確認

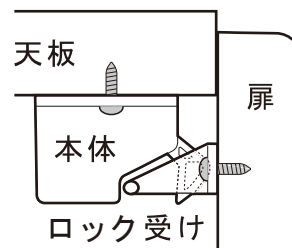
耐震ロック本体取付後、ロック部分が動くかどうか必ず確認してください。



耐震ロック本体と収納ユニットの水平・垂直が出ていないにも関わらず動きが悪い場合は、一旦外して水平な台の上に置いてロック部分を指で動かし、作動するかどうかをご確認ください。作動しない場合は、お手数ですが弊社までお問い合わせください。

7-11 耐震ロック受けの作動確認

扉を手で開け閉めして、作動確認を行ってください。



不具合項目	対処方法
開閉の際引っかかりがある	固定ねじを少しゆるめて、本体またはロック受けの位置を調整する
扉が開まらない	ロック受けの上下が正しいかどうかを確認し、間違っていた場合は取り付け直す

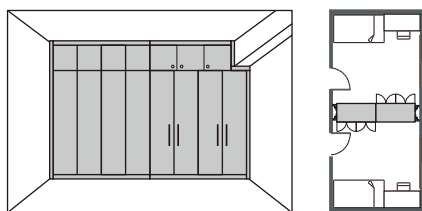
不具合が解消しない場合は、お手数ですが弊社までお問い合わせください。

8 据え付け

はじめに 配置方法と配置用部品の確認

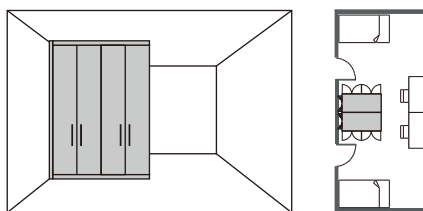
◆ 配置方法の種類

① 完全間仕切り



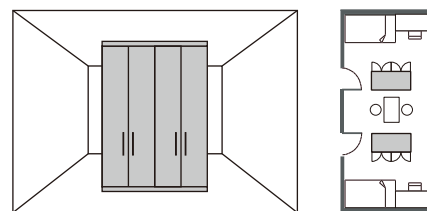
ワンルームを完全に間仕切りして2つの独立した個室をつくる。

② 半間仕切り



ワンルームを部分的に間仕切り。片側を壁に寄せ、片側をオープンにする。

③ 可動家具

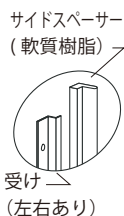


ワンルームをゆるやかに間仕切り。収納本体の両側をオープンにする。

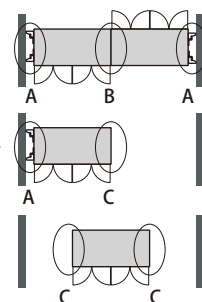
◆ 配置用部品

A. 側面を壁にぴったり寄せる

壁と収納本体側面との間をスポンジ状の軟質材サイドスペーサーでふさぎます

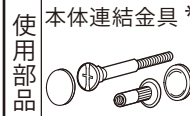


使用部品



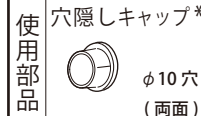
B. 本体同士を連結する

本体同士を並べて設置し、明かり漏れなどが気になる場合連結します。



C. 側面オープン使い

本体側面がオープンになると、穴隠しキャップで本体連結穴をふさぎます。



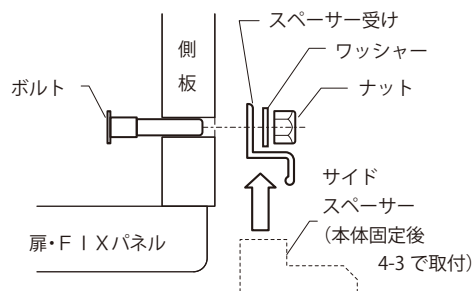
Aの場合

8-1 サイドスペーサー受けを取り付ける

壁面側に来る側板の貫通穴にサイドスペーサー受けを固定します。

サイドスペーサー受けには上下左右がありますのでご注意ください。

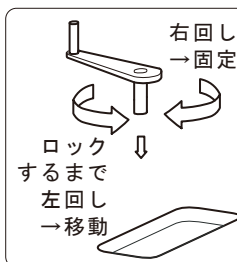
使用部品



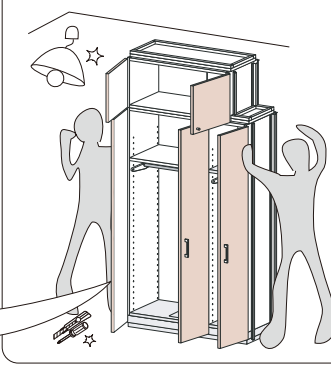
8-2 配置場所に本体を移動し、固定する

◆ 移動

ハンドルを左回りに回すと、収納本体と天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納本体を動かすことができます。



照明器具・家具・床に置いたもの等に当たらないよう十分注意して動かします。



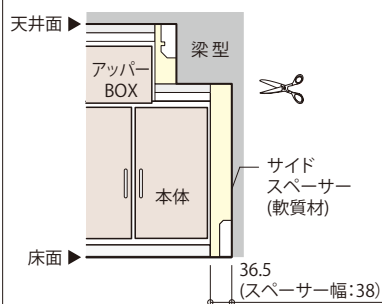
◆ 固定

設置場所でハンドルを右回りに回して収納本体を天井に突っ張り、固定します。

ロックするまでハンドルを右に回すと、天井スペーサーが5mmつぶれる設計です。
天井高さにバラツキがある場合、上げすぎないようにご注意ください。

Aの場合

8-3 サイドスペーサーを取り付ける



壁面と側板の間に、サイドスペーサーを押し込み、寸法・形状を調整します。

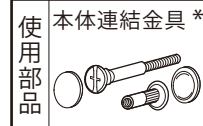
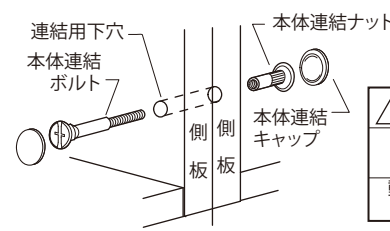
サイドスペーサーは長尺で出荷されますので、各サイズに合わせてカットしてください。

幅・廻縁の形状に合わせてカットすると、ぴったり納まります。

Bの場合

8-4 本体同士を連結する

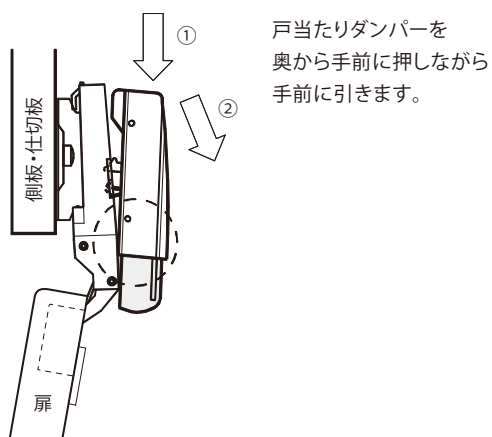
収納ユニット同士を並べて、スキマが気になる場合本体連結金具で収納ユニット同士を連結します。



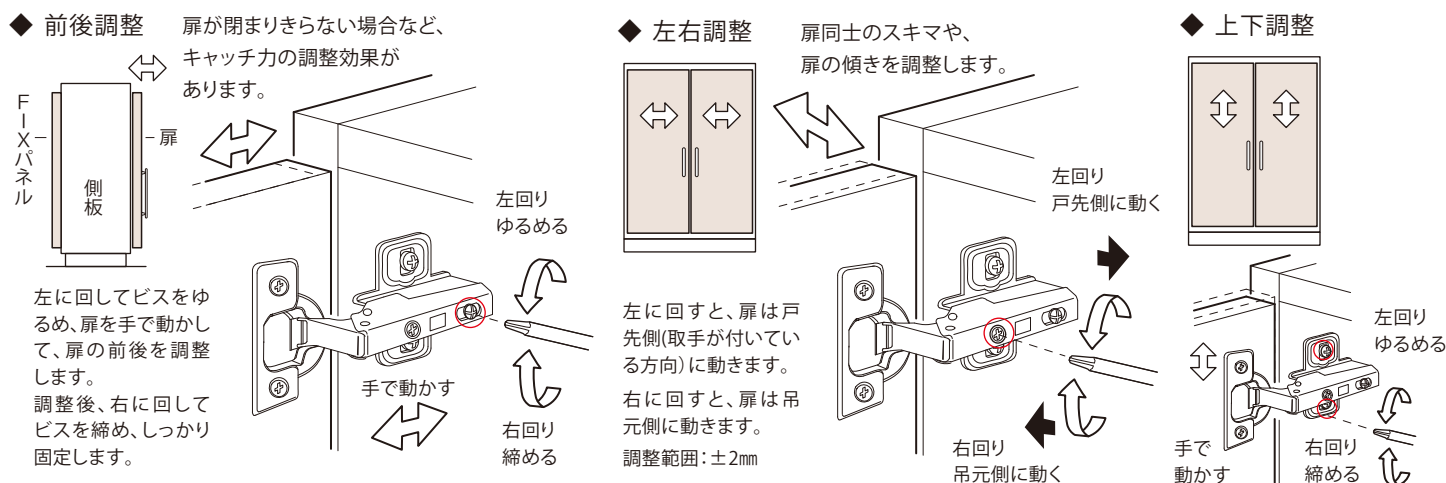
連結したまま収納本体を昇降させると、収納本体が破損する原因となります。必ず連結金具を外してください。

9 扉の調整

9-1 戸当たりダンパーを取り外す

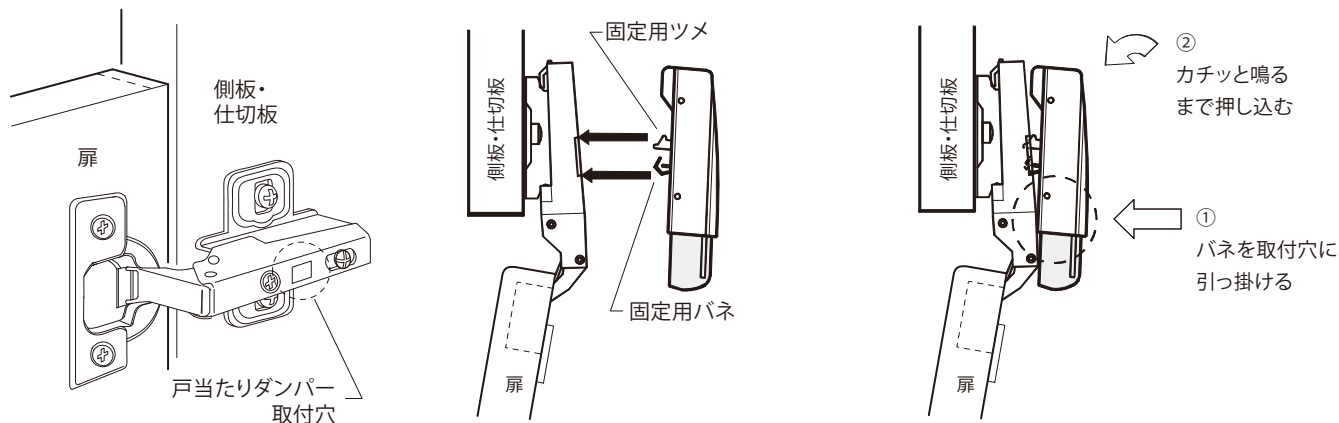


9-2 扉を調整する



9-3 戸当たりダンパーを取り付ける

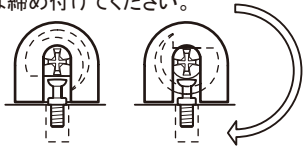

◆ 各扉 1 個ずつ取り付けます。中央の蝶番への取り付けを推奨します。



蝶番の戸当たりダンパー取付穴に、固定用ツメと固定用バネをそれぞれ合せてください。

その後、固定用バネを蝶番の取付穴に引っ掛け戸当たりダンパー後部をカチッと鳴るまで蝶番に押し込み、取り付けます。

10 施工後の確認

項目	詳細	チェック	項目	詳細	チェック
1 棚板・天板・台輪の締付金具の締め忘れがない	<p>施工説明書に記載されている通り、全ての締付金具が最後まで締め付けられているか確認し、ゆるんでいた場合は締め付けてください。</p>  <p>ゆるんだ状態 締め付けた状態</p>	<input type="checkbox"/>	6 FIXパネルは下まできちんとはめ込まれ、固定されている	<p>FIXパネルに取り付けた連結金具が側板・仕切板に取り付けた連結金具に下まで押し込まれ、固定ビスがしっかりと締め付けて固定されているかどうかをご確認ください。</p> 	<input type="checkbox"/>
2 組み立て部品が余っていない	<p>取り付け忘れの恐れがあります。施工後、余りがないかどうか確認し、全ての部品を取り付けてください。 ※ 使用しなかった配置用部品は、揃えてお客様にお渡しください。</p>	<input type="checkbox"/>	7 天井スペーサーが正しく取り付けられている	<p>天井スペーサーが取り付けられていない場合、天井に突っ張ることができませんので、衝撃や地震の振動で動いてしまう恐れがあります。 また、スキマがあいている場合、音漏れや明かり漏れの原因となります。天井スペーサー同士の間もスキマがあかないように貼り付けてください。</p>	<input type="checkbox"/>
3 扉は正しく取り付けられ、開閉できる	<p>扉同士が当たっている スキマがばらついている 扉が傾いている 扉が最後まで閉まらない</p> <p>↓</p> <p>14ページの調整方法に基づき、扉を調整してください。</p> <p>扉を動かすと蝶番が前後に動く</p> <p>↓</p> <p>スライド蝶番がしっかり固定されているかどうか確認してください。</p>	<input type="checkbox"/>	8 サイドスペーサーが正しく取り付けられている	<p>サイドスペーサーが取り付けられていない場合、音漏れや明かり漏れする恐れがあります。スキマなく取り付けてください。</p>	<input type="checkbox"/>
4 扉を閉めたとき、「バタン」という乾いた大きな音がしない	<p>「戸当たり(フエルト)」「戸当たりダンパー」が取り付けられていない場合大きな音がします。 取り付け忘れた場合は、「戸当たり(フエルト)」「戸当たりダンパー」を取り付けてください。</p>	<input type="checkbox"/>	9 製品に傷や欠け、塗装のはがれ等がない	<p>全ての商品について傷や欠け、塗装の剥がれや汚れがないかどうかご確認ください。 万一の際は弊社までご相談ください。</p>	<input type="checkbox"/>
5 ジャッキアップハンドルは所定の収納場所に戻されている	<p>組み立ての際使用したジャッキアップハンドルは、所定の位置(地板の格納フタ内)に必ず戻してください。</p>	<input type="checkbox"/>	10 お客様と打ち合わせた通りに「可動間仕切収納」が配置されている	<p>正しい位置に配置されているかどうか、また、その配置方法に必要な配置用部品が正しく取り付けられているかをご確認ください。 特に、完全間仕切りで本体同士を連結する必要がある場合(例: 隙間から明かりが漏れるとき)は本体を連結し、連結したことを必ずお客様にお伝えください。</p>	<input type="checkbox"/>

お問い合わせは
こちらまで



アクシス株式会社

0120-348-225

(受付 9:00~18:00 休 土・日・祝)

E-mail: order@ce-fit.com

東日本営業グループ / 青山サイト
東京ショールーム (完全予約制)

〒107-0062 東京都港区青山2-23-8 外苑ビル3F
TEL 03-3479-5100 FAX 03-3479-6200

西日本営業グループ / 堀江サイト
大阪ショールーム

〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-26
TEL 06-6536-2030 FAX 06-4391-7102



<http://www.ce-fit.com>

